

① 動物園のあり方について

(特別史跡姫路城跡保存活用計画検討専門部会での検討)

第1回(令和元年12月2日) 【別紙1参照】

姫路市立動物園のおかれた現状

- 1 姫路市立動物園の現況
施設規模、施設利用者、施設状況
 - 2 姫路市立動物園の役割
市民の憩いの場、社会教育施設、種の保存・繁殖
 - 3 近年の動物園運営
動物の保全・福祉を重視、展示手法の工夫
 - 4 史跡地内の動物園
改修や飼育環境改善等にかかる制限
- 移転存続の方向で検討

第2回(令和2年1月13日) 【別紙2参照】

姫路市に必要とされる動物園

- 1 動物園の役割
教育、種の保全
 - 2 立地条件
交通アクセスの良い場所
 - 3 動物コレクション
テーマ設定の重要性
 - 4 施設
規模(小型・中型・大型)
形態(単独・複合)
- 動物福祉や環境エンリッチメント(動物福祉の立場から、飼育動物の“幸福な暮らし”を実現するための具体的な方策)を踏まえて、市として方針を検討
- 子どもたちの集まる場所としての機能補完を検討

会 議 録

1 会議名	第1回特別史跡姫路城跡保存活用計画検討専門部会
2 開催日時	令和元(2019)年 12 月 2 日(金) 14:00～15:45
3 開催場所	イーグレひめじ4階 セミナー室 B
4 傍聴の可否及び傍聴人数	傍聴可 3名 報道関係 日刊1社
5 議事	<p>(1)専門部会の進め方の説明</p> <p>(2)姫路市立動物園の現状の説明</p> <p>(3)動物園の移転等についての意見交換</p> <p>(座長) 姫路市立動物園は約3haの敷地面積で年間50万人の来園者がある。</p> <p>(委員) 姫路市の人口と同数程度の来園者がある。規模から考えると全国的にも非常に珍しい。</p> <p>(座長) どういった地域から来園していますか。</p> <p>(事務局) 姫路市内だけでなく西播磨地域から来園する方が多い。</p> <p>(座長) 交通手段について教えてほしい。</p> <p>(事務局) 家族で来園している方が多い。自動車利用が最も多く、立地の利便性から電車利用も多い。</p> <p>(委員) 来園者の年齢層も幅広い。</p> <p>(座長) 入園者に関しては立地条件が影響していると思う。 動物園の施設状況はどうですか。</p> <p>(事務局) 施設改修は行っているが施設の老朽化も進んでいる。 新たに床面積を増やすことができない。また、飲食場所がない。園内にはベンチや芝生広場がある。お弁当持参で来園される方も多い。 また、動物園は姫路城内の休憩施設としての役割も担っている。</p> <p>(座長) 遊戯具の維持管理はどうしていますか。</p> <p>(事務局) 遊戯業者が日常的にメンテナンスをして、安全性を確保しながら運営している。</p> <p>(座長) 近年の動物園運営の考え方や状況について教えて下さい。</p>

- (委員) 今は動物の保全と福祉、という考え方が主流である。
動物の保全と福祉を考える上で、大切なのは「ランドスケープ」である。これは、動物園の景観をつくりだす要素として植物や土、水に注目し、動物福祉を重視した環境の実現を通じて自然との共生を目指すというものである。
動物が心地よいと感じ、本来の生育場所に近い環境をつくる。そしてエンリッチメントを行い、動物福祉を実現することが大切である。
今後はこうした方向に沿って動物園を運営する必要がある。
- (座長) 姫路市立動物園が担っている役割について教えてほしい。
- (委員) この動物園は 70 年近い歴史があり市民との繋がりがあある。種の保存活動にも取り組んでおり、こうした経験と技術は長年の実績がないとできない。とても重要である。国内の動物園には、年間で 7000 万人以上の人々が訪れている。動物に関心を持って訪れる人々に対する環境教育活動も、今後の動物園には求められている。
- (委員) エンリッチメントという専門用語について教えてください。
- (委員) 環境エンリッチメントとは、「動物福祉の立場から、飼育動物の“幸福な暮らし”を実現するための具体的な方策」のことを指している。また、近年は生物多様性の喪失が深刻化しており、動物園・水族館における生息域外保全への期待も高まっている。
- (座長) 姫路市立動物園には、市民のための動物園と種の保存等に関わる専門的な活動 2 つの側面がある。
- (委員) 今は、キリンや象がいなくてダメという時代から、動物種が限定されていても見せ方で来園者を惹きつける動物園が増えている。
動物園の面積が狭くても広くても何を見せるのか、そのために必要な動物、面積や設備は何なのかといったことを考える時代になっている。
- (座長) そうした考え方は、来園する方に受け入れられていますか。
- (委員) いろいろな種類の動物がいなくても、魅力的な動物園をつくれる時代になってきています。
- (委員) 姫路市立動物園では種の保存にも力を入れています。地域的にみると姫路より西は、広島まで行かないと同様の取り組みをしている公立動物園がない。拠点として必要である。
- (座長) 大学等の研究機関との関係はどうですか。
- (委員) 動物飼育は大学等の研究機関では難しい。これは動物園の役割ですね。
- (座長) 公立施設として役割についてはどう考えればよいですか。
規模は小さいが、運営の歴史は長く種の保存、繁殖活動にも取り組んでいる。
- (委員) 年間 50 万人の来園者がある動物園は、決して小規模な動物園とはいえません。
特別史跡内にあるということで改修に制限があり、飼育環境が狭いといったデメリットはありますが、繁殖活動等の重要な役割を果たしています。
また、鷹匠プロジェクトといった、動物が介在する文化の復活といった取り組みも行っており、動物園にはこうした文化の継承に関わることもできる。
- (座長) 動物園を存続させた場合、現在の敷地面積を意識して欲しい。この広さは小さな子供

に理解できる広さだと思うのです。

(委員) 姫路城内にある動物園といっても、実は来園者の多くは動物園を目的に来ている。

(座長) 私も同意見です。

(委員) 私は長く姫路城に関わってきましたが、この動物園は、本当に姫路市立動物園が好きな人が支えていると思う。

昔ながらの遊戯具がある。懐かしい感じがして落ち着ける雰囲気がある。もっと宣伝をして来園者を誘導してもいいのではと感じましたが、やはり城内にあるということで制限されてしまうのは大変残念ですね。

(事務局) 昭和 61 年には、移転という方針が出ている。

姫路城の天守まで登る人に比べて動物園は低料金で何度でも行きやすい。

(座長) 入園料は 4 歳以下、65 歳以上は無料、小人は 30 円で大人でも 210 円で運営している。

入園料を低料金に設定することは来園者には良いが運営的には持ち出しになる。

(事務局) 社会教育施設としての機能も有しているので政策的に配慮されている。

(委員) 他の公立動物園と比べても入園料が格段に安い。水族館はもう少し入館料が高いですね。

もっと入園料を上げていいと思う。

(座長) 姫路城内における動物園の位置付けを教えてください。

(事務局) 特別史跡区域として姫路城を中心に約 107.85ha の区域が指定を受けている。

動物園は特別史跡地内の内曲輪にあり、ここにはかつて浮島等があり、殿様が東御屋敷 から城へ向かう際の道筋であったとも聞いている。特別史跡区域には、文化財保護法が適用され現状変更には文化庁の許可が必要である。

動物園についても、現在ある建物の老朽化等に伴う維持管理のための最低限必要な改修にしか許可が下りない。獣舎の大規模改修ができないため、床におがくずを敷いたり獣舎内に樹木・植栽等を入れたり、玩具や給餌等いろいろ工夫して動物のストレスを少しでも軽減できるように努力している。

(座長) 状況はわかりました。史跡地にある類似の動物園について教えてください。

(事務局) お城の中にある類似動物園として和歌山公園動物園と小田原動物園がある。

小田原市はサル舎を残し5年ほどかけて整理しました。和歌山の動物園は城内から少々離れていることや市民からの反対もあり、現在も開園しています。

(座長) 和歌山市は、なぜ住民の反対があったのですか。

(委員) 和歌山は移転ではなく廃止の方針でした。

他の類似例では、とべ動物園は移転が前提であったため反対はなかった。

(座長) わかりました。それでは、姫路市立動物園の存廃について皆様のご意見を伺いたい。

動物園は存続ということによろしいですか。

(委員) 全員了承。

(座長) 次に、特別史跡内にある動物園について意見をお伺いします。

現在地の史跡地内で動物園の施設工事できる範囲は制限されている。新規の建築や建て直しは無理だが修繕はできる。今のまま 20～30 年間使い続けることは可能なのか。

(委員) どの程度の範囲で改修が許されるかで判断が違ってくる。

動物園の景観づくりには植生が大切である。史跡地内で植物を植えたりすることはできるか教えてほしい。

(座長) 動物の飼育環境改善に向けた改修であっても簡単には樹木を植えることはできない。建物は基礎部分もさわれない。地面を通しての設備配管の工事も厳しい。

(委員) このまま手を加えられないということであれば、動物福祉の観点から、今後も批判を受け続ける。種の保存といった重要な役割を果たしている、飼育環境が現在の水準に達していないと批判は避けられない。

(座長) 動物園運営を世界的な流れで考えれば、現在地から移転して存続という方向となる。

この方針に沿って次回のお話を進めたい。

(委員) 動物園を建設するとしたらテーマやどんな動物園つくりたいかを考え、その上で動物コレクションプランを作成することが大切である。現在地で施設をどこまで改修・変更することができるのか、もう少し教えてほしい。

(委員) 水族館に関する資料もほしい。

(事務局) 施設の改修範囲については担当部署から次回開催時に改めて説明します。水族館資料についても次回開催日までに準備します。

(座長) 他にご意見はありませんか、なければ事務局にお返しします。

(4)閉会

長時間にわたり議論をしていただき、ありがとうございました。本日頂いた意見を踏まえ、次回の部会の準備を進めます。

次回は1月13日(月)午後2時から、イーグレひめじ4階セミナー室 C、D で開催予定です。

会 議 録

1 会議名	第2回特別史跡姫路城跡保存活用計画検討専門部会
2 開催日時	令和2（2020）年1月13日（月） 14：00～15：45
3 開催場所	姫路市国際交流センター（イーグレひめじ）4階セミナー室 CD
4 傍聴の可否及び傍聴人数	傍聴 3名、 報道 1社
5 会議の全部内容又は進行記録	<p>姫路市立動物園の存続について</p> <p>「本市に必要とされる動物園」という観点から、テーマや役割・意義、立地、動物コレクション、規模、施設の5つの項目について意見交換を行った。</p> <p>●動物園の存続について意見交換</p> <p>（座長） それでは動物園の存続について、ご意見をお伺いします。</p> <p>「姫路市に必要とされる動物園」という観点から、テーマや立地、動物コレクション、規模、施設の5つの項目について委員の皆さんから意見をいただきたいと思ます。</p> <p>（委員） 「姫路市に必要とされる動物園」という観点から考えると、動物コレクションはとても重要である。何をテーマに動物をコレクションするかがとても大切なことです。それが地理的なテーマとするか、環境や気候面から考えるか、アマゾンなのか、北米なのか、熱雨林なのか、湿地帯なのか、こういったテーマ性に基づいた動物コレクションを考える必要がある。地理的な特性にテーマを置く場合、例えば熱帯というテーマにすると決めたら熱帯の動物達を展示する。そこには、熱帯以外の動物は置かない。そして、テーマに合わせてランドスケープを整えて動物園としての特色を作っていくと、動物選定も限定的なものとなり選定しやすくなる。</p> <p>（座長） 日本動物園水族館協会（JAZA）は、希少種の保全に重点を置いている。希少種の保全への取り組みについては、どうしたらいいですか。</p> <p>（委員） 動物園にはそれぞれの考え方があり特色がある。動物園の運営を考える上で、例えば熱帯林をテーマと決めたら周辺の環境を整え動物を配していく。一番大事なものは、背景となる展示のテーマは一体何かということだと思う。以前は、「ネコ科の仲間たち」というような展示する場合、単に動物を分類して展示していた。しかし、最近では、北アメリカに住むネコ科の動物達というテーマ性のある展示に</p>

なっている。また、希少種を保全するのであれば、例えば日本エリアというテーマを考えながら保全の対象であるライチョウ等の飼育に取り組むと違和感もなく教育的な啓発活動もしやすくなる。

(座長) 姫路市立水族館は播磨という地域の特色をテーマに、この地域の環境を目に見える形で伝えようとしている。動物園も同様に考えるべきだと思う。動物園の存続を考え動物園のあり方を検討する場合、教育と密接に関連した動物園にしていけないといけない。市立の動物園としては一つの柱として教育をテーマに置く必要があるという思いを持っている。姫路市に必要とされる動物園を考えると、まず、テーマとしては教育が良いと思う。次に、立地としては、姫路市には郊外型の民間動物園がある。民間動物園との役割分担を考えると都市型が良いと思う。姫路市立動物園は、昭和26年から交通アクセスが良く非常に利便性の高い場所で運営をしている。来園者の方も利便性が高いことに慣れており、他の選択肢はないと思う。そうすると、やはり都市型ということになる。臭いの問題もあるので住宅地域から離れたところで交通アクセスが良い場所を選択するのが良いと思う。次に、規模については、大規模な動物園施設は都市型では望めない。今のような小規模な動物園で良いと思う。施設としては、教育を主眼に考えると水族館や動物園等を分け隔てることもない。複合施設として運営する場合には、いろいろな課題があると思いますが、やはり動物園単独ではなく、水族館等との複合施設という方向性が良いのではないかと。

(委員) 私は、姫路市立動物園が飼育員の顔が見える運営をしているところが素敵だと思っている。お金をかけたものでなく、飼育員の方が自らつくった手作り感がある。園内には、飼育員の方の思いがこもったグッズや案内看板等のメッセージなどがたくさんある。

これらは決して洗練はされていないかもしれませんが、飼育員の方々のいろいろな工夫をよく見ることができる。例えば園内を散策していると、飼育員の方が気さくに声かけや説明をしてくれて、とても好ましい。

姫路市立動物園のポリシーとして、こうした風土をこれからも維持していくことが重要だと思います。すごくお金をかけた、すごく派手な立派な施設で、高い入園料を取るワクワク、ドキドキするような動物園をつくる必要はありません。料金が安くて遠足では必ず行くような動物園が良いと思う。保育園、幼稚園、小学校時代に何度も遠足できたことのある施設、そういった子供たちを受け入れる施設を市が用意していることがとても重要であると感じている。観光とか賑わいづくりとかそういったこともあるが、教育・学習が大切です。いろいろな事が学べ、しかも動物を飼育している人から生の声で教わる、このことがとても大切である。

園児や児童が遠足で行く施設ということテーマを考えると、やはり公共交通機関で行ける場所であった方がよいでしょう。園児・児童が公共機関を利用して歩いていける範囲にある施設が、テーマや役割意義を考えるうえで重要なことではないでしょうか。

また、施設については、動物園に行ったら水族館も植物園も科学館も行けるというのはすごいことだと思う。相乗効果が発揮でき特色になると思う。

(委員) 先ほどからでている立地については都市型、規模については複合型等についての流れはそのとおりだと思う。複合施設ということでは、それぞれの建物が分かれているのか、それとも同じ建物内に水族館や動物園があるのか、分けた形でも連結した建物であるのか、といったことが重要な点です。単独の動物園であっても隣に水族館がある状況もある。動物園と水族館が本当にひとつになってしまうのは、どうかなという思いがある。

(委員) 動物園は、これまでは入園者数で評価されることが多かったと思う。他でも動物園関係の委員をしていますが、種の保全活動や動物園で実施しているイベントや教育活動等をふまえて、評価の基準を作っていく必要がある。今後子供の数も減り、入園者数も減ってくる。そういう意味で相乗効果という言葉がでてくる。相乗効果が生まれるような複合施設を作ることができればそうした点も評価対象にすべきだと思う。

(委員) テーマについては、「魅せる動物園づくり」が大切だと考えている。自然系の博物館としてどんな魅力あるレクリエーションを提供できるか。単に見せるではなく魅惑の魅をつかった魅せる動物園づくりが大事だと思う。私も子供が小さいときは入園料が無料ということもあり姫路市立動物園に来ていました。この動物園にはノスタルジーを強く感じている。しかし、現状のままではなく、やはり改善は必要です。立地については、皆さんが言う通り子供を主に考えると交通アクセスが良いというのは重要であると思います。姫路市立動物園が移転して存続する場合、一連の考え方としてテーマ、動物コレクション、規模、施設がつながっている。施設の件でも動物園水族館をまとめるとなると規模も大きくなり郊外になると思う。テーマや動物コレクションが決まり単独がよいとなれば都市部に、複合施設として考えるなら郊外が良いと思う。市の教育施設、自然系博物館として水族館と動物園の複合施設は成り立つと考えている。私の意見として、規模としては単独で中規模程度がよいのではと思う。また、動物園は将来の環境保全等を担う人への教育活動の場でもある。これからは、動物園の役割に国連のSDGs（持続可能な開発目標）に対する取り組みを加えてみてはどうでしょうか。プラスチックゴミの問題であるとか海洋汚染への啓発へと繋がっていき動物園が取り組むことで面白く伝えていけると思う。

(座長) 動物園が姫路城内から移転すると動物園が担っていた未就学児の集まる場所がなくなるという状況について、保存活用計画策定に際しては考えて欲しい。跡地をただ復元するというのではなく、現在、未就学児が集まっているこの機能を補完することを検討してください。

(委員) 動物園の移転について、移転予定地が決まっていて予算が取れる見込みがあるということなら意見も言いやすい。しかし、お城の中でどうするのか、動物園を移転するのか等、市としての方針が定まっていない。新たな動物園作り戦略みたいな意見になる。具体的な計画があると話しやすいしアドバイスもできる。そろそろ、市とし

ての方向性を決めないといけない。

(委員) これからの動物園は、動物福祉と環境エンリッチメントが求められている。日本動物園水族館協会（JAZA）でガイドラインを作成する。これらガイドラインをふまえてこれからの方針や方向性を決めてもらえればよいと思う。

(座長) 最近の動物園が求められているの流れをふまえて、今後の方針を検討してください。予定していた時間がまいりました。他になければこれまでの話をまとめ次回の専門部会へ提出してください。次回は4月か、5月頃に開催予定でよろしいですか。それでは、事務局お願いします。

閉会

本日は貴重なご意見をありがとうございます。これまでの委員の皆様のご意見・ご提案をとりまとめ報告書を作成し、第3回の専門部会でご確認頂き、市の方針決定の参考とさせていただきます。

次回は4月か5月の開催を予定しております。本日はありがとうございました。